

「考えよう いじめ・SNS@Tokyo」の活用

特別支援学校 中学部第1学年 総合的な学習の時間「SNSトラブルのなぜ」
ストーリーをもとに、自身の行動を振り返る活動

■本時の目標

○SNSのトラブルの事例について考え、SNSとの正しい付き合い方について考える。

本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	○普段、ケータイやスマホなどの情報端末をどんなことに使っているか確認する。	
展開1	○「考えよう いじめ・SNS@Tokyo」のサイトから、「ゲームや動画って楽しいけれど・・・」を見て、「どのような点がよくなかったのか」「今後どうしていったらよいか」を考え、発表する。	ストーリーをもとに考える 
展開2	○「考えよう いじめ・SNS@Tokyo」のサイトから、「写真を送ったら、思わぬ形で」を見て、「どのような点がよくなかったのか」「今後どうしていったらよいか」を考え、発表する。	
まとめ	○二つのケースからケータイやスマホなどの情報端末をどのように活用していったらよいか話し合い、ワークシートにまとめ発表する。	授業プリント

■生徒の変容等

- ・事例を考えるにあたって、イラストでストーリー仕立てになっているため、内容を理解しやすいようで、意欲的に取り組む事ができていた。
- ・保護者が SNS を始めたことで生徒自身も興味が始まっており、周囲の影響力の大きさを感じた。
- ・分からないことがあったら、すぐに保護者に相談することの大切さを事例より再度学んだようで、トラブルにまきこまれないためにも、ルールを守ることの重要性を再確認することができた。
- ・中学1年生という年齢からケータイやスマホなどを持ち始めるころだが、実際は持つ前からSNSの情報を取り入れていて、興味があるようであった。実際に使いたすと、操作などがよく分からないままのめりこんでしまう危険性もあり、早い段階から情報モラルを指導する必要があると改めて感じた。